

BOSS**DIGITAL DELAY DD-200**

取扱説明書



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.17））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 ディスプレイ

ディレイ・タイムなどを表示します。

2 [TIME] つまみ

ディレイ・タイムを設定します。

ボタンを押すたびにディレイ・タイムの表示が時間とテンポ (BPM) で切り替わります。

表示例

1ms = 「1」、100ms = 「100」、1s = 「1.00」、
テンポ: 120 = 「120」、テンポ: 1000 = 「1k」、
テンポ: 99000 = 「99k」、テンポ: 100000 = 「10.k」

3 [FEEDBACK] つまみ

フィードバック量 (繰り返し量) を調節します。

※ 入力音やつまみの位置によっては発振することがあります。

4 [E.LEVEL] つまみ

エフェクト音の音量を調節します。

モードが REVERSE の場合、E.LEVEL を最大にするとダイレクト音がカットされます。

5 モードつまみ

ディレイのモードを選びます。

モード	説明
STANDARD	クリアなデジタル・ディレイ。
ANALOG	マイルドなアナログ・ディレイ。
TAPE	テープ・エコーに特有の、揺らぎのあるサウンド。Roland RE-201 をモデリングしています。
DRUM	Binson EchoRec2 をモデリングしています。
SHIMMER	音程を変えた音を混ぜたディレイ。
TERA ECHO	リバーブでもディレイでもない、広がりとおどきのあるエコー・サウンド。
PAD ECHO	浮遊感のあるディレイ・サウンド。
PATTERN	16 個のディレイを組み合わせたサウンド。
LO-FI	歪み感のあるファットなサウンドです。
DUAL	2 つのディレイを直列に接続したディレイ。
DUCKING	入力に応じて自動で音量、フィードバックを調節します。深くかけても演奏の邪魔になりません。
REVERSE	逆再生するディレイ。

6 [PARAM] つまみ

モードに応じたパラメーターを調節します。

モード	説明
STANDARD	ディレイ音のアタック感を調節します。
ANALOG	ディレイ音のクセと歪み感を調節します。 3 つある再生ヘッドの組み合わせです。一番下のけたに「.]」が表示されるときは、歪みを加えたサウンドになります。
TAPE	4 つある再生ヘッドの組み合わせです。すべての再生ヘッドを組み合わせる場合は、「ALL」と表示されます。 一番下の桁に「.]」が表示されるときは、歪みを加えたサウンドになります。
DRUM	ディレイ音のきらびやかさを調節します。
TERA ECHO	エフェクト音のクセの強さを調節します。
PAD ECHO	エフェクト音のアタック感を調節します。
PATTERN	ディレイのパターンを選びます。
LO-FI	エフェクト音の歪み感を調節します。
DUAL	2 つ目のディレイ・タイムを調節します。1 つ目のディレイに対する割合 (%) で設定します。
DUCKING	入力に応じて自動音量調整する感度を調節します。値が大きくなるほど小さい音量に反応します。

各部の名称とはたらき

モード	説明
REVERSE	ディレイ音のアタック感を調節します。

7 [TONE] つまみ

エフェクト音の音質を調節します。

中央位置でフラット、右に回すと高域をブーストし、左に回すと高域をカットします。

8 [MOD DEPTH] つまみ

エフェクト音を揺らす深さを調節します。

9 [TAP DIVISION] ボタン

BPM に対する音符の長さでディレイ・タイムを設定します。

誤操作を防ぐ (パネル・ロック)

[TAP DIVISION] ボタンの長押しで、つまみとボタンの操作を有効 (アンロック) にするか/無効 (ロック) にするかを切り替えることができます。

ロック中に操作をすると、ディスプレイに「L [L]」と表示されます。

10 TAP DIVISION インジケータ

ペダルを踏む間隔を 4 分音符 (100%) として、ディレイ・タイムを音符で表示しています。

TAP DIVISION インジケータ					説明
♪	♪	♪	TRI	DOT	
✓				✓	付点 2 分音符 (300%)
✓					2 分音符 (200%)
	✓			✓	付点 4 分音符 (150%)
✓			✓		3 連 2 分音符 (133%)
	✓				4 分音符 (100%)
		✓		✓	付点 8 分音符 (75%)
	✓		✓		3 連 4 分音符 (67%)
		✓			8 分音符 (50%)
		✓	✓		3 連 8 分音符 (33%)

11 [MEMORY] ボタン

メモリー (MANUAL、1 ~ 4) の切り替えや保存をします (P.8)。

12 MEMORY インジケータ

選択中のメモリーを表示します。

13 [ON/OFF] スイッチ

ディレイをオン/オフします。

14 [MEMORY/TAP] スイッチ

メモリーを切り替えます (P.8)。

[MEMORY/TAP] スイッチの長押しで、タップ・モードになります。

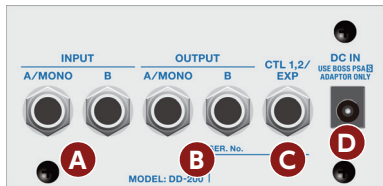
演奏曲のテンポに合わせてスイッチを押して、演奏曲とタイミングの合ったディレイ・タイムを設定することができます。

メモ

フットスイッチの機能は「*MF*」(MEMORY FUNCTION)で、切り替えることができます。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りを、すべての機器の電源を切ってください。



A INPUT (A/MONO、B) 端子

ギター、ベースやエフェクターを接続します。

ステレオ出力のエフェクターを接続するときは A 端子と B 端子を、モノで使用するときは A 端子のみを使用してください。

電源を入れる／切る

INPUT A 端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT A 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

B OUTPUT (A/MONO、B) 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

モノで使用するときは OUTPUT A 端子のみを使用してください。このとき、ステレオで入力した音もモノで出力されます。

C CTL 1、2/EXP 端子

CTL 1/2 端子として使う

フットスイッチ (別売:FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、ディレイ・タイムのタップ入力やメモリーを切り替えることができます (P.10)。

EXP 端子として使う

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、ディレイ・タイムやエフェクト音の音量などをコントロールすることができます（P.12）。

- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D DC IN 端子

AC アダプター（別売：PSA-100S）を接続する端子です。

- ※ AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100S）を、AC100V の電源で使用してください。
- ※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

サイド・パネル（機器の接続）**E MIDI 端子**

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35）で外部 MIDI 機器に接続します。外部 MIDI 機器を使って本機のメモリーを切り替えることができます。

- ※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

F USB 端子

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

- ※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。
- ※ プログラム・アップデート専用です。

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する

エディットしたディレイの設定を保存することができません。

1. [MEMORY] ボタンを長押しします。

ディスプレイに「MRT」と表示されます。

2. [MEMORY] ボタンを押して、保存先 (MAN、1～4) を選びます。

中止するときは、[TAP DIVISION] ボタンを押します。

3. [MEMORY] ボタンを長押しして、保存先を決定します。

メモリーが保存されます。

※ MANに保存した場合、MODE、FEEDBACK、E.LEVEL、PARAM、TONE、MOD DEPTHの設定はパネルの値が適用されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. [MEMORY] ボタンを押して、メモリーを選びます。

ボタンを押すたびに、「MAN (マニュアル) → 1 → 2 → 3 → 4 → MAN...」の順で変わります。

[MAN] (マニュアル) とは?

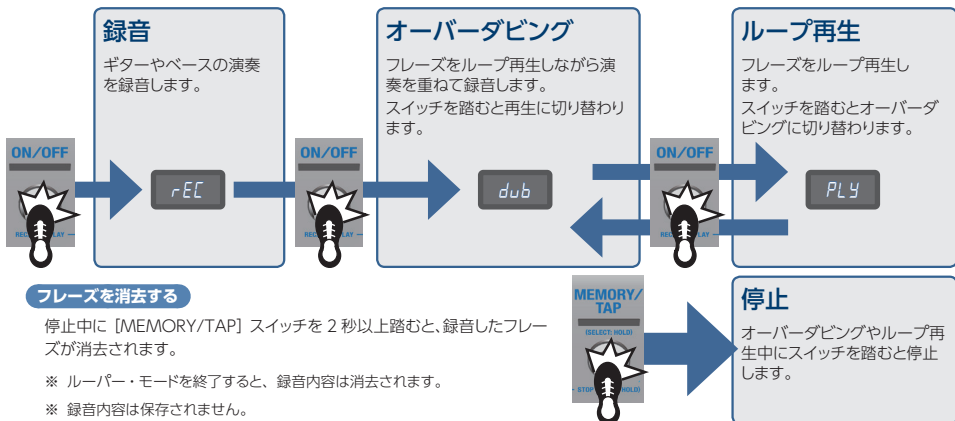
[MAN] を選ぶと、各つまみの位置の設定でディレイが鳴ります (マニュアル・モード)。ディレイ・タイムとTAP DIVISIONはライトした設定になります。

フレーズ・ループ演奏をする

ルーパーを使って、リアルタイムに録音／再生をしながら音を重ねるパフォーマンスができます。ディレイをかけながら音を重ねることができます。

ルーパー・モードに入る (抜ける) : [ON/OFF] スイッチと [MEMORY/TAP] スイッチを同時に踏みます。
Looper が起動すると、画面に「LoP」と表示します。

※ 最大録音時間：約 60 秒 (モノ)



フレーズを消去する

停止中に [MEMORY/TAP] スイッチを 2 秒以上踏むと、録音したフレーズが消去されます。

- ※ ルーパー・モードを終了すると、録音内容は消去されます。
- ※ 録音内容は保存されません。

※ 録音されたデータがあると、ON/OFF インジケーターが点灯します。データがない場合は消灯します。

全体の設定をする (メニュー)

基本操作

1. [TAP DIVISION] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。

MENU モードに入ります。

2. [TIME] つまみを回してパラメーターを選び、
[TIME] つまみを押します。

値が表示されます。

3. [TIME] つまみを回して、値を変えます。

4. [TIME] つまみを押します。

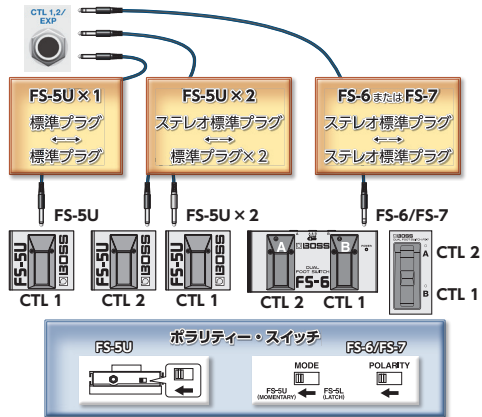
5. [TAP DIVISION] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。

MENU モードから抜けます。

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 1, 2/EXP 端子にフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、ディレイ・タイムのタップ入力かメモリーを切り替えることができます。

メニューの「[1F]」または「[2F]」で設定します (P.11)。



メニュー・パラメーター一覧

パラメーター	説明
CrY (CARRYOVER)	音色を切り替えたときや、ディレイをオフにしたときに、エフェクト音を残すか (on) 残さないか (off) を設定します。
hhd (TEMPO HOLD)	音色を切り替えたとき、テンポ (BPM) を維持するか (on) 変えるか (off) を設定します。
SBF (ON/OFF FUNCTION)	[ON/OFF] スイッチ、[MEMORY/TAP] スイッチ、CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。
MF (MEMORY FUNCTION)	※ スイッチによって、割り当てられる機能が異なります。 off : 動作しません。
IF (CTL1 FUNCTION)	SB (ON/OFF SWITCH) : エフェクトをオン/オフします。
CF (CTL2 FUNCTION)	MoM (MOMENT) : 押している間だけディレイ音を出力します。 FA (FADE) : ディレイ音をフェード・イン/アウトさせます。

パラメーター	説明
	MAN (MANUAL) : マニュアルを選びます。 M-1 ~ 4 (MEMORY 1 ~ 4) : メモリー 1 ~ 4 を選びます。 MoP, MoDn (MEMORY UP, DOWN) : MEMORY EXTENT (P.13) の設定に従いメモリーを選びます。スイッチの長押しで、タップ・モードになります (テンポに合わせてインジケーターが点滅)。 TAP (TAP TEMPO) : タップ入力します (タップ・モード)。 hLd (HOLD) : 押している間、ディレイ音を繰り返します (ホールド・モード)。 WARP (WARP) : ディレイ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なディレイを作り出すことができます (ワープ・モード)。 Tw (TWIST) : アグレッシブな回転効果が得られます (ツイスト・モード)。 rL2 (ROLL 1/2) 、 rL4 (ROLL 1/4) 、 rLB (ROLL 1/8) : ディレイ・タイムが 1/2 ~ 1/8 になります (ロール・モード)。 LPS (LOOP ON/OFF) : ルーパーをオン/オフします。
SBF (ON/OFF FUNCTION)	
MF (MEMORY FUNCTION)	
IF (CTL1 FUNCTION)	
CF (CTL2 FUNCTION)	

全体の設定をする(メニュー)

パラメーター	説明
SBF (ON/OFF FUNCTION)	LPC (LOOPER CONTROL) : ルーパーをコントロールします。
NFC (MEMORY FUNCTION)	タップ : ルーパーの再生/オーバーダビング/停止を切り替えます。 ダブルタップ : ルーパーを停止します。 停止中に長押し : フリーズをクリアします。
CT1F (CTL1 FUNCTION)	LPP (LOOPER PLAY/DUB/STOP) : ルーパーの再生/オーバーダビング/停止を切り替えます。
CT2F (CTL2 FUNCTION)	LSt (LOOPER STOP) : ルーパーを停止します。2秒以上押すとフリーズをクリアします。
EPF (EXPRESSION FUNCTION)	CTL 1, 2/EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。 OFF : 動作しません。 t, n (TIME/BPM) : [TIME] つまみと同じ動作をします。 Fdb (FEEDBACK) : [FEEDBACK] つまみと同じ動作をします。 ELU (E.LEVEL) : [E.LEVEL] つまみと同じ動作をします。 Mod (MOD DEPTH) : [MOD DEPTH] つまみと同じ動作をします。
EPF (EXPRESSION FUNCTION)	PRP (PARAM) : [PARAM] つまみと同じ動作をします。 iLl (INPUT LEVEL) : 入力レベルを調節します。

パラメーター	説明
EPn (EXPRESSION MIN)	EXPRESSION FUNCTION でコントロールするパラメーターの可変範囲を設定します。可変範囲はパラメーターによって異なります。
EPN (EXPRESSION MAX)	
SBP (ON/OFF PREFERENCE)	
NEP (MEMORY PREFERENCE)	nen (MEM) : メモリーの設定が有効
CT1P (CTL1 PREFERENCE)	SYS (SYS) : メモリーにかかわらずコントローラーの機能が一定
CT2P (CTL2 PREFERENCE)	
EPp (EXPRESSION PREFERENCE)	
out (OUTPUT MODE)	出力のしかたを選びます。 nor (NORMAL) : OUTPUT A/B 端子にプラグが挿入されていたらステレオ、挿入されていなかったら、OUTPUT A 端子からモノで出力します。 dirE (DIRECT/EFFECT) : OUTPUT A 端子からはダイレクト音、OUTPUT B 端子からはエフェクト音が出力されます。 dirM (DIRECT MUTE) : ダイレクト音を出力しません。

パラメーター	説明						
$E\ E\ F$ (MEMORY EXTENT FROM)	メモリーの切り替え範囲 (MEMORY EXTENT FROM ~ TO) を設定します。						
$E\ E\ E$ (MEMORY EXTENT TO)	MAN (MANUAL)、1~4						
$r\ C\ h$ (MIDI RECEIVE CHANNEL)	MIDI 受信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを受信しません。 1~16、OFF						
$t\ C\ h$ (MIDI TRANSMIT CHANNEL)	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを送信しません。 1~16、 $r\ C\ U$ (RECEIVE)、OFF						
$P\ i\ n$ (PC IN)	プログラム・チェンジを受信するか (on) しないか (OFF) を設定します。						
$P\ o\ t$ (PC OUT)	プログラム・チェンジを送信するか (on) しないか (OFF) を設定します。 メモリーとプログラム・ナンバーの対応						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メモリー</th> <th>プログラム・ナンバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MAN</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>MEMORY 1~4</td> <td>2~5</td> </tr> </tbody> </table>	メモリー	プログラム・ナンバー	MAN	1	MEMORY 1~4	2~5
メモリー	プログラム・ナンバー						
MAN	1						
MEMORY 1~4	2~5						
$C\ C\ i$ (CC IN)	コントロール・チェンジを受信するか (on) しないか (OFF) を設定します。 CC を受信すると、つまみやフットスイッチと同じ操作を MIDI でコントロールできるようになります。						

パラメーター	説明
$C\ C\ o$ (CC OUT)	コントロール・チェンジを送信するか (on) しないか (OFF) を設定します。
$t\ n\ C$ (TIME CC)	
$F\ b\ C$ (FEEDBACK CC)	
$E\ L\ C$ (E.LEVEL CC)	
$P\ r\ C$ (PARAM CC)	
$t\ n\ C$ (TONE CC)	
$m\ o\ d\ C$ (MOD CC)	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。 OFF、1~31、64~95
$S\ w\ C$ (ON/OFF SWITCH CC)	
$m\ e\ C$ (MEMORY CC)	
$C\ t\ l\ 1\ C$ (CTL1 CC)	
$C\ t\ l\ 2\ C$ (CTL2 CC)	
$E\ x\ p\ C$ (EXPRESSION CC)	

全体の設定をする(メニュー)

パラメーター	説明
<i>EFL</i> (EFFECT ON OFF CC)	エフェクト ON/OFF をコントロールします。
<i>SYN</i> (SYNC)	どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。 <i>INT</i> (INTERNAL) : 内蔵テンポに同期します。 <i>AUT</i> (AUTO) : 通常は内蔵テンポで動作しますが、MIDI IN 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。 DD-200 をスレープにする場合は「 <i>AUT</i> 」に設定します。
<i>RTS</i> (REALTIME SOURCE)	MIDI OUT 端子に出力するリアルタイム・メッセージのソースを設定します。 <i>INT</i> (INTERNAL) : 内蔵リアルタイム・メッセージをソースにします。 <i>MID</i> (MIDI) : MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
<i>MTH</i> (MIDI THRU)	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま MIDI OUT 端子から送信するか (<i>ON</i>) 送信しないか (<i>OFF</i>) を設定します。
<i>LOP</i> (LOOP SWITCH)	ルーパーを使用するか (<i>ON</i>) 使用しないか (<i>OFF</i>) を設定します。 「 <i>OFF</i> 」に設定すると、ルーパー・モードに入れません。

パラメーター	説明
<i>P1 ~ P9</i> 、 <i>P10</i> ~ <i>P99</i> 、 <i>P00</i> ~ <i>P28</i>	受信するプログラムナンバーに対するメモリーを設定します。バンクセレクトは無視(関係なく受ける) します。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

DD-200 を工場出荷時の設定に戻します。

1. [ON/OFF] スイッチと [MEMORY/TAP] スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A 端子にプラグを挿します)。

ディスプレイに「F C t」と表示されます。

2. [MEMORY/TAP] スイッチを押します。

ディスプレイに「5ur」と表示されます。

中止するときは、[MEMORY] ボタンを押します。

3. [MEMORY/TAP] スイッチを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

4. ディスプレイに「F in」と表示されたら、電源を入れ直します。

電池交換のしかた

図のように、向きに注意して電池を入れます。

- ※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。

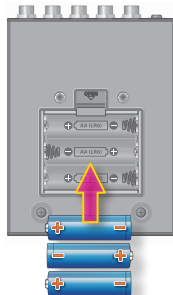
- ※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

- ※ 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、ACアダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードやACアダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』『安全上のご注意』チラシと取扱説明書に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

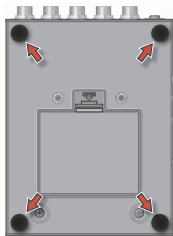
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとディスプレイに「Lo」と表示されます。新しい電池と交換してください。



ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。
 ゴム足は図の位置に貼り付けます。

※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

BOSS DD-200 : デジタル・ディレイ

電源	アルカリ電池（単3形）×3、ACアダプター（別売）
消費電流	225mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池：約4時間 ※使用状態によって異なります。
外形寸法	101（幅）×138（奥行）×63（高さ）mm（ゴム足を除く） 101（幅）×138（奥行）×65（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量	680g（電池を含む）
付属品	取扱説明書 「安全上のご注意」チラシ アルカリ電池（単3形）×3 ゴム足×4 保証書 ローランド ユーザー登録カード
別売品	ACアダプター：PSA-100S フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35

※ OdBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品
ゴム足 (P.16)

修理について

- 修理を依頼される場合は、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 本製品には、第3者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1